

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 27 年 10 月 1 日 (2015.10.1)

【公表番号】特表 2014-532193 (P2014-532193A)  
 【公表日】平成 26 年 12 月 4 日 (2014.12.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-066  
 【出願番号】特願 2014-528946 (P2014-528946)  
 【国際特許分類】

G 0 9 C 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

【F I】

G 0 9 C 1/00 6 6 0 D

G 0 6 F 21/24 1 6 6 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 27 年 8 月 14 日 (2015.8.14)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

デジタルオブジェクトを符号化されたデジタルオブジェクトへと符号化する方法であって、装置において、

前記デジタルオブジェクトを受信するステップと、

ビットシーケンスを得るよう前記デジタルオブジェクトのデータの少なくとも一部を暗号化するステップと、

前記ビットシーケンスを座標を有する点の組へと可逆的に変換するステップと、

前記座標を有する点の組を前記符号化されたデジタルオブジェクトとして出力するステップと

を有する方法。

【請求項 2】  
 前記点の組を所定のフォーマットにフォーマットするステップ  
 を更に有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】  
 前記デジタルオブジェクトは、グラフィカルオブジェクトのファイル表現である、  
 請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】  
 前記符号化されたデジタルオブジェクトは、グラフィカルオブジェクトのファイル表現である、  
 請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】  
 前記点の組は、前記符号化されたデジタルオブジェクトを得るよう更なるデジタルオブジェクトに加えられる、  
 請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】  
 デジタルオブジェクトを符号化する装置であって、  
 前記デジタルオブジェクトを受信し、

ビットシーケンスを得るよう前記デジタルオブジェクトのデータの少なくとも一部を暗号化し、

前記ビットシーケンスを座標を有する点の組へと可逆的に変換し、

前記座標を有する点の組を前記符号化されたデジタルオブジェクトとして出力するよう構成されるプロセッサを有する、装置。

【請求項 7】

符号化されたデジタルオブジェクトを復号されたデジタルオブジェクトへと復号する方法であって、装置において、

座標を有する点の組を有する前記符号化されたデジタルオブジェクトを受信するステップと、

前記座標を有する点の組をビットシーケンスに変換するステップと、

復号されたデジタルオブジェクトを得るよう前記ビットシーケンスを復号化するステップと、

前記復号されたデジタルオブジェクトを出力するステップとを有する方法。

【請求項 8】

前記符号化されたデジタルオブジェクトから前記点の組を取り出すステップを更に有する請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記復号されたデジタルオブジェクトは、グラフィカルオブジェクトのファイル表現である、

請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記符号化されたデジタルオブジェクトは、グラフィカルオブジェクトのファイル表現である、

請求項 7 に記載の方法。

【請求項 11】

前記点の組は、前記符号化されたデジタルオブジェクトを得るよう更なるデジタルオブジェクトから取り出される、

請求項 7 に記載の方法。

【請求項 12】

符号化されたデジタルオブジェクトを復号されたデジタルオブジェクトへと復号する装置であって、

座標を有する点の組を有する前記符号化されたデジタルオブジェクトを受信し、

前記座標を有する点の組をビットシーケンスに変換し、

復号されたデジタルオブジェクトを得るよう前記ビットシーケンスを復号化し、

前記復号されたデジタルオブジェクトを出力する

よう構成されるプロセッサを有する、装置。

【請求項 13】

前記プロセッサは更に、前記符号化されたデジタルオブジェクトから前記座標の組を取り出すよう構成される、

請求項 12 に記載の装置。

【請求項 14】

プロセッサによって実行される場合に、該プロセッサに、請求項 7 乃至 11 のうちいずれか一項に記載の方法を実行させる命令を有するコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 6 】

保護される例となる典型的な 3 D オブジェクトは、次のとおりである：

【 数 1 】

```

geometry IndexedFaceSet {
  coord Coordinate {
    point [
      -2.0 2.0 2.0 , 2.0 2.0 2.0 , 2.0 -2.0 2.0 , -2.0
-2.0 2.0 , 0.0 0.0 -2.0
    ]
  }
  coordIndex [
    0,1,4,-1,1,2,4,-1,2,3,4,-1,3,0,4,-1,3,2,1,0
  ]
}

```

点座標はpoint[]構造において挙げられており、一方、面はcoordIndex[]構造において定義される。以上のように、3 D オブジェクトは、少なくとも点セット及び構造によって定義され、点は、浮動小数点値により表される三つ揃いの座標によって定義される。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 7 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 7 1 】

明細書並びに（必要に応じて）特許請求の範囲及び図面において開示される各特徴は、独立して又はあらゆる適切な組み合わせにおいて提供されてよい。ハードウェアにおいて実施されるように記載される特徴はまた、ソフトウェアにおいても実施されてよく、その逆も同様である。特許請求の範囲において現れる参照符号は単なる例示に過ぎず、特許請求の範囲の適用範囲に対する制限効果を有すべきではない。

上記の実施形態に加えて、以下の付記を開示する。

（ 付 記 1 ）

デジタルオブジェクトを符号化されたデジタルオブジェクトへと符号化する方法であって、装置において、

前記デジタルオブジェクトを受信するステップと、

ビットシーケンスを得るよう前記デジタルオブジェクトのデータの少なくとも一部を暗号化するステップと、

前記ビットシーケンスを座標を有する点の組に変換するステップと、

前記座標を有する点の組を前記符号化されたデジタルオブジェクトとして出力するステップと

を有する方法。

（ 付 記 2 ）

前記点の組を所定のフォーマットにフォーマットするステップ

を更に有する付記 1 に記載の方法。

（ 付 記 3 ）

前記デジタルオブジェクトは、グラフィカルオブジェクトのファイル表現である、

付記 1 に記載の方法。

（ 付 記 4 ）

前記符号化されたデジタルオブジェクトは、グラフィカルオブジェクトのファイル表現である、

付記 1 に記載の方法。

（ 付 記 5 ）

前記点の組は、前記符号化されたデジタルオブジェクトを得るよう更なるデジタルオブジェクトに加えられる、

付記 1 に記載の方法。

( 付記 6 )

デジタルオブジェクトを符号化する装置であって、

前記デジタルオブジェクトを受信し、

ビットシーケンスを得るよう前記デジタルオブジェクトのデータの少なくとも一部を暗号化し、

前記ビットシーケンスを座標を有する点の組に変換し、

前記座標を有する点の組を前記符号化されたデジタルオブジェクトとして出力する

よう構成されるプロセッサを有する、装置。

( 付記 7 )

符号化されたデジタルオブジェクトを復号されたデジタルオブジェクトへと復号する方法であって、装置において、

座標を有する点の組を有する前記符号化されたデジタルオブジェクトを受信するステップと、

前記座標を有する点の組をビットシーケンスに変換するステップと、

復号されたデジタルオブジェクトを得るよう前記ビットシーケンスを復号化するステップと、

前記復号されたデジタルオブジェクトを出力するステップと

を有する方法。

( 付記 8 )

前記符号化されたデジタルオブジェクトから前記点の組を取り出すステップ

を更に有する付記 7 に記載の方法。

( 付記 9 )

前記復号されたデジタルオブジェクトは、グラフィカルオブジェクトのファイル表現である、

付記 7 に記載の方法。

( 付記 10 )

前記符号化されたデジタルオブジェクトは、グラフィカルオブジェクトのファイル表現である、

付記 7 に記載の方法。

( 付記 11 )

前記点の組は、前記符号化されたデジタルオブジェクトを得るよう更なるデジタルオブジェクトから取り出される、

付記 7 に記載の方法。

( 付記 12 )

符号化されたデジタルオブジェクトを復号されたデジタルオブジェクトへと復号する装置であって、

座標を有する点の組を有する前記符号化されたデジタルオブジェクトを受信し、

前記座標を有する点の組をビットシーケンスに変換し、

復号されたデジタルオブジェクトを得るよう前記ビットシーケンスを復号化し、

前記復号されたデジタルオブジェクトを出力する

よう構成されるプロセッサを有する、装置。

( 付記 13 )

前記プロセッサは更に、前記符号化されたデジタルオブジェクトから前記座標の組を取り出すよう構成される、

付記 12 に記載の装置。

( 付記 14 )

プロセッサによって実行される場合に付記 7 乃至 11 のうちいずれか一項に記載の方法

を実行する命令を記憶したコンピュータプログラム担体。